

# 2024年度(令和6年度)学校評価自己評価表

大成館中学校区	校番 28	福山市立神村小学校
最終更新日		2024年(令和6年)4月1日

## I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

## II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容 ・学校からの情報発信を工夫し保護者との連携を大切にしてほしい。 ・校区や各校の課題や目標を保護者・地域で共有しながら協力して学校づくりを行っていくことが大切である。 ・児童・生徒の学力向上や長期欠席生徒減少に向け、小中で連携を深めながら指導を充実させてほしい。	児童生徒の現状 ・学力の伸び調査では結果を出しつつある。全国学力調査では、すべての校区小中学校で昨年度の成績を上回ることができたが学力の定着にはまだ課題がある。 ・主体的に物事に取り組もうとする児童・生徒も多く、総じて素直な子どもが多いが、自己表現力など課題がある。	育成する力 21世紀型“スキル&倫理観” めざす子ども像 義務教育修了時の姿 中学校区として統一した取組等	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学ぶ力】【自己形成力】 ・確かな学力を身につけ、自ら進路を切り拓く子ども ・自己肯定感が高く、社会に貢献できる子ども ・「主体的な学び」の授業づくりに取り組み、学力を向上させる。 ・「自己表現」「あいさつ」に取り組み、自己肯定感を向上させる。 ・「自分で選び・決める活動」に取り組み、自己形成力を向上させる。
---	---	---	--

## III 自校

ミッション 心豊かに自立・貢献・感謝する児童を育成し、保護者・地域から信頼され、共に歩む学校	育成する力 21世紀型“スキル&倫理観” めざす子ども像	○表現力 ○課題発見・解決力 ○主体性・やりきる力(本年度重点) ○共感力 自ら考え、「表現する子ども」「やりきる子ども」「関わり合う子ども」
学校教育目標 心豊かに自立・貢献・感謝する児童の育成	研究 テーマ 子ども主体の学びの創造	内容等 一算数科の予習型授業を通して一 ☆2つの「教材研究」の取組☆ ①児童の「つまずき」の分析(子ども主語) ②教材分析ノート作成(教材主語)
現状 <児童生徒> ○児童の自己肯定感が高まり、学力向上、長期欠席者の減少などの課題が少しずつ改善してきた。 ●本年度も、学力向上、長期欠席者の減少が課題である。 <授業> ○算数科の予習型授業づくりに取り組み、これまでよりも、事前の予習、展開での話し合い、適応題の量の確保、個別の支援ができる授業づくりが進んだ。 ●「子ども主体の学び」を目指し、さらに、教材研究に取り組む必要がある。また、授業の中で、温かい人間関係を育てていきたい。	めざす授業の姿	【めざす授業】主体的に学ぶ授業 【合言葉】学校は励ますところだ大作戦2024 —「ほめて、認めて、励ます」指導に貫かれた神村小学校— 【3つのYELL!を意識した授業づくり】 (1) 誇れる学校 YELL! 温かい人間関係を育む授業 (2) 新たなことに「挑戦」する学校 YELL! ①「1人1プロジェクト」に挑戦 ②「コミュニティスクール」に向けた取組に挑戦 ③「3つのM」の取組に挑戦 ※Mとは「自ら考える」※3つとは「表現する子」「やりきる子」「関わり合う子」 (3) 信頼される学校 YELL! ①傾聴と温かい接遇 ②選択と集中

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立神村小学校

年 目	中期経営目標	重 点 分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)						
						□指標に係る取組状況 ☆指標に対する状況○ 成果▲課題	力を入 り評価	達成 評価	○改善方策	□指標に係る取組状況☆ 指標に対する状況 ○成果 ▲課題 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	力を入 り評価	達成 評価	総合 評価	○改善方策	
3	「主体的な学 び」の授業づ くりを進め て、学ぶ意欲 と学力を向上 させる	★ 継 続	「子ども主体の 学び」を目指し た授業づくりを 通して、学ぶ意 欲と学力向上を 図る。	・2つの「教材研究」 ①児童のつまずきの 分析②教材分析ノー トの作成の取組を通 して、「主体的な学 び」の授業づくりを する。	・2つの「教材研究」 の取組の教職員実践 発表研修会の実施(8 月, 12月) ・「自分に合った学習 活動などを選ぶこと ができる」と回答す る児童 75%以上 ・「なぜだろう, やっ てみたいと思う」と 回答する児童 80% 以上 ・「授業で考えること がおもしろい」と回 答する児童 80%以 上										
		新 規	「ほめて, 認め て, 励ます」指導 で, 体力向上を 図る。	・体育の授業, 体育的 行事において, 児童 が主体的に学習する 場面を設定し, 主体 的な姿を「ほめて, 認 めて, 励ます」指導を する。(教職員の回答 90%以上)	・体力テストの結果 が, 全学年で昨年よ り2つ以上UP ・体育的行事後, 主体 的に取り組んで楽し かった」と回答する 児童90%以上										
3	教 職 員 の 資 質・能力を向 上させる	継 続	3つのYELL 「誇れる学校」 「新たなことに 挑戦する学校」 「信頼される学 校」の実現に向 け, 主体的に取	・教職員が1人1プロ ジェクトを推進し, 主 体性を持ち, よりよい 学校づくりに貢献す る。 ・児童理解が進み, 生	・「仕事にやりがい を感じている」教職員 の割合90%以上 ・「児童に対してじっ										

			り組む教職員になる。	徒指導上の諸問題を減らすための暮会(「子どものよさを語る会」3分×週2回程度)をする。(年間80%の暮会)	くり話を聞き,考える手助けができてい る。」と回答する教職員100%									
3	生徒の自己肯定感を高める	★ 継続	温かい人間関係を育む授業づくり・支援を通して,自己肯定感の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の自己評価の継続と課題に係る改善</li> <li>・長欠対策委員会による,「ほめて,認めて,励ます」指導に視点を おいた取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3つのM」における児童の行動化に係る肯定的評価 90%以上 ※Mとは「自ら考える」の頭文字 ※3つとは 「表現する子」 「やりきる子」 「関わり合う子」</li> <li>・長期欠席の児童を昨年度(22名)の70%以下 ・「先生は自分のよいところを認めてくれる」と肯定的に回答する児童90%以上 ・「学校が楽しい」と回答する児童85%以上</li> </ul>									

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ,状況の変化,問題が生じた際は,協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し,十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ,状況の変化,問題が生じた際は,協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し,望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ,状況の変化,問題が生じた際は,協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し,一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く,状況の変化,問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り,成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず,状況の変化,問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り,成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。